

# 電動バイクで出石巡るツアー

## 企業に提案、商品化検討

### 但馬技術大学校生が発表会

**豊岡**

県立但馬技術大学校（豊岡市九日市上町）の総合ビジネス学科の学生7人がこのほど、講義「観光概論」

での現地実習の集大成として、同市の出石城下町を電動バイクで巡るツアープランを作成した。新型コロナウイルスの影響が広がる中で、若者ならではの視点を生かし、「コロナ禍の中、観光客に五感を使って感じてもらいたい魅力」をテーマに現地を探索。地図にまとめて紹介し、関係者らと意見を交わした。

同学科は1年制で、地元企業などで活躍できる事務スタッフの育成を目指し2017年に設立された。「観光概論」は目玉講義の一つ

で、地元の観光関係者ら10人を講師に招き、最前線の取り組みを学んでいる。

昨年は新型コロナウイルスの影響で5月末まで休校になり、校外実習も11月まで自粛された。そんな中、同学科は、

城崎温泉街で電動バイクによる個人向け地元発着ツアーを手掛ける旅行会社「たびぞう」と授業で連携。学生たちは電動バイクに乗り、大林大悟社長(41)らに

助言を受けながら、観光地として有名にはなっていないがひかれる場所などを探し回った。

今月10日に同校で成果発表会があり、学生が2班に分かれてお薦めスポットを紹介。写真共有アプリなどでの投稿を想定して、街並

みを一望できる高台やカエルの石像、空が鏡のように映り込む川を候補に挙げ、「何も考えないでぽーっとして」などと楽しみ方も提案した。



電動バイクで出石城下町を巡る観光プランを発表した学生たち＝県立但馬技術大学校

学生らが作成したプランは現在、たびぞうが地元団体と商品化を検討中という。同学科の藤原美優さん(22)は「たとえ地元のことでも、自分で行動して体験しないと、人に魅力を伝えることはできないと分かった。あちこちにどんだん足を運んで勉強したい」と話した。

(阿部江利)